

ベゴニア



■ベゴニアのプロフィール

※「ベゴニア」には多品種がありますが、ここでは一般的な草花として多用されます。「ベゴニア・センパフローレンス」について説明します。

学名：*Begonia semperflorens*

科名：シュウカイドウ科

分類：一年草

原産地：ブラジル

花壇・鉢植え・プランター植えなどに利用され、特に公園や道路沿いなどで夏から秋の花壇には、定番中の定番といえる草花です。ベゴニア・センパフローレンスは、ベゴニア属の中でも最もなじみのある種類で、開花期間が長く、春から霜が降りる晩秋まで咲き続けます。さらに暖地であれば、軒下などで冬越しすることもあります。

■ベゴニアの育て方

●タネまき

タネは草花の中でもっとも細かく、また、開花までの時間が比較的長く、タネから育てるのは難しいため、一般的には苗から育てます。

●苗からの育て方

育てるのは比較的容易です。病気や害虫もそれほど多く出ないので、初心者でも育てやすい花です。花が終わったら花ガラ摘みを行うことと、茎が伸びて姿が乱れたら、切り戻しをすると、長く楽しむことができます。

●育て方のポイント

同じ株の中に、花粉がある雄花と、タネができる雌花があります。雄花はそのままにしておいても、自然と花びらが散って落ちますが、落ちた花びらが葉に落ちると汚く見えることもありますので、適宜取り除いてあげましょう。

雌花は花が終わるとタネができます。そのままに置いていても枯れることはありませんが、適宜取り除いてあげることで、株が疲れてしまうことなく、長く楽しめます。



雄花

花粉があります

雌花

花の後ろにタネのもとがあり、花後タネができます

